

## 6月はシートベルト・チャイルドシート着用強化月間

### 事故のとき、シートベルトはどうなる？

① 前面衝突をした場合、身体は前へ進もうとします



前面衝突のような交通事故時には、慣性により前に進もうとする身体を座席に拘束するシートベルトにより、胸と腰には非常に大きな力がかかります。そのような大きな力に耐えるため、肩ベルトは肩にかけ、腰ベルトは骨盤をしっかり固定する必要があります。

もし、シートベルトが首やお腹にかかっていた場合、事故時の衝撃により首を圧迫したり、腹部の内臓を損傷してしまう危険があります。

シートベルトを正しく安全に着用するためには、正しく着用できる体格であること、また、正しい方法で着用すること、シートに深く腰掛けるなど正しい姿勢で着用することが重要です。

② 身体が前にいかないよう、シートベルトは瞬時にロックされます

「全席シートベルト着用」は自分自身の命を守るだけでなく、家族、生徒、社員など大切な同乗者の命を守る運転者の責任です！

シートベルトを正しく着用できるまでは、チャイルドシートを正しく使用し、子供たちの命を守りましょう！

#### チャイルドシートの種類

チャイルドシートには、こどもの体格（身長や体重）に合わせて「乳児用」「幼児用」「学童用」があるほか、より長い期間にわたって使用できる兼用タイプのももあります。

	乳児用 (ベビーシート)	幼児用 (チャイルドシート)	学童用 (ジュニアシート)
身長(目安)	40~85cm	76~105cmかつ 月齢15ヵ月以上	背もたれあり 100~150cm 背もたれなし 125~150cm
年齢(目安)	新生児~1歳ごろ	15ヵ月~4歳ごろ	4歳ごろ~12歳ごろ
特徴等	・骨格が未発達な乳児を守るため、体全体で衝撃を受け止められるように、後ろ向き、または横向きに取り付ける	・幼児からは前向きで使用 ・体全体で衝撃を受け止められるよう、5点式ハーネスにより固定するものが多い	・大人用のシートベルトを使用すること ・背もたれのありなしがあること ※6歳以上も、大人用シートベルトが安全に使用できるようになるまでは、学童用タイプの使用が望ましい

※チャイルドシートの対象は機種によって異なる場合がありますので事前に確認するとともに、使用前には説明書で取り付け方をしっかり確認しましょう。

安全基準を満たしたチャイルドシートには「Eマーク」が表示されています。Eマークが表示されているか必ず確認しましょう。



# 二本松警察署

